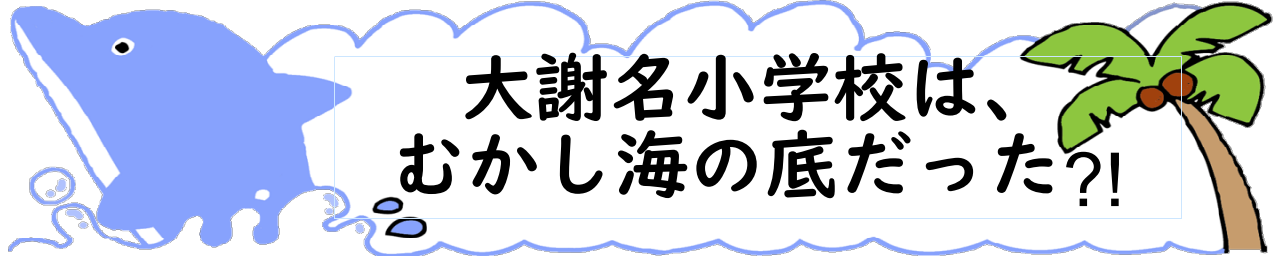


大謝名小のスタ場!!!!

2022, 7, 29 (金)
第12号
宜野湾市立
大謝名小学校
校内新聞

「スタ場」とは、「スタートの場」「スタディの場」「スターの場」を表しています。



大謝名小学校は、 むかし海の底だった?!

令和3年度の11月の校長講話朝会では、「察度王生誕700周年」についてお話ししました。察度は、「黄金宮（くがになー）」付近に住み、後に伊祖場の按司になり、浦添城の按司になり、中山王になりました。様々なことに取り組んで、沖縄で初めて中国の歴史の本に名前がのった王様でした。

察度王については、また後の号で紹介するとして、講話の中で現在の大謝名小学校のあたりが海の底だったことをお話ししました。下の地図中の「ヤマトガー」も、日本からの船を横付けして水を補給していたと言われていて、学校も黄金宮やメヌカー、大謝名公民館よりくぼんだところにあること、周りの地層や植物分布からも、このあたりが海岸沿いだったことが分かるのです。

興味があれば、ぜひ宜野湾市立博物館や図書館などで調べてみてください。

(文責：玉村かおり)



うすいむらさき色の部分が、むかし海だったところです。
大謝名小学校や大謝名幼稚園の場所は波打ち際近くの海底だったのですね。

察度ゆかりの文化財マップ